



2021年8月13日

各 位

会 社 名 株式会社HCSホールディングス
代表者名 代表取締役社長 加藤 俊彦
(コード番号: 4200 東証JASDAQ)
問合せ先 専務取締役管理本部長 竹村 正宏
(TEL. 03-5690-9435)

2022年3月期第2四半期累計期間業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の当社の業績を踏まえ、2020年6月24日に公表いたしました2022年3月期第2四半期累計期間(2021年4月1日～2021年9月30日)の業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 2022年3月期第2四半期累計期間 連結業績予想の修正(2021年4月1日～2021年9月30日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,177	20	34	13	5.88
今回修正予想(B)	2,220	112	132	60	25.37
増減額(B-A)	42	91	97	46	—
増減率(%)	2.0	439.1	284.7	337.2	—
(ご参考)前期連結実績 (2021年3月期第2四半期累計)	—	—	—	—	—

(注) 当社は、2021年3月期第2四半期累計期間においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2021年3月期第2四半期累計の数値については記載しておりません。なお、1株当たり四半期純利益の予想数値の算出に際しましては、発表日現在において予想される期中平均株式数を使用しております。

2. 修正の理由

予想につきましては、当第1四半期連結累計期間におきまして、前年度より引き続きテレワークなどの在宅需要の増加を背景に、デジタルマーケティング事業での受注拡大により売上が伸長し、好調に推移したことから、売上高は前回発表予想を42百万円上回る2,220百万円となる見込みであります。

利益面につきましては、増収による増益効果およびコロナ禍における旅費交通費や広告宣伝費等のコスト低減により営業利益は91百万円、持分法適用関連会社の業績好調による持分法投資損益の改善により経常利益は97百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は46百万円、それぞれ前回発表予想を上回る見込みであります。

なお、通期業績予想につきましては、現時点では新型コロナウイルス感染症による今後の影響など不透明な要素があるため、公表済みの予想値を据え置いております。業績予想の修正が必要と判断した場合には速やかに開示致します。

(注) 本資料に記載されている業績予想などの将来に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる結果となる場合があります。

以 上